

第40回 お茶の水女子大学日本語文化学会プログラム

2010年7月10日(土)午後1時30分開会

◎ポスター発表 午後2時～3時35分

「地域日本語学習支援の談話分析—ことばの機能と発達を中心に—」

野々口ちとせ (東京国際大学)

「持続可能な多言語多文化共生社会を築く共生日本語教育の可能性 —共生言語の記述と分析を通して—」

半原芳子 (AOTS 横浜研修センター)

「子どもの教科学習支援における母語話者支援者の参加の可能性」

宇津木奈美子 (お茶の水女子大学大学院生)

「対話に着目した発音ピア・モニタリング活動の可能性—言語生態の保全・育成を目指して—」

房 賢嬉 (お茶の水女子大学大学院生)

「大学院予備教育とする「アカデミック日本語教室」の提案」

張 瑜珊 (お茶の水女子大学大学院生)

◎研究発表 午後3時45分～5時10分

<第1分科会> 司会: 岩田夏穂

「複合動詞の意味推測における文脈量と第二言語習熟度の影響」

谷内美智子 (国際交流基金日本語試験センター)

「韓国語「받다/badda」に対する認識と日本語授受補助動詞の習得の関係

—中国人朝鮮語母語話者と韓国語母語話者を対象に—」

朴 錦女 (首都大学東京大学院生)

「空間—時間メタファーの普遍性と相対性—「上/下」<前/後>の時間表現の日中対照研究」

徐 蓮 (お茶の水女子大学大学院生)

<第2分科会> 司会: 影山陽子

「中国の公立中学に在籍する日本人生徒の二言語の発達と文化的アイデンティティ」

付 傑 (東京学芸大学教育学大学院生)

「言語少数派の子どもの母語による教科学習支援の実態—子どもの母語による読み書きに注目して—」

劉 雲霞 (お茶の水女子大学大学院研究生)

「女子高校生の「体言止め」に見る発話の受け継ぎと会話構造」

高岸美代子 (お茶の水女子大学大学院生)

<第3分科会> 司会: 影山陽子

「中国における持続可能性日本語教育の試み—ピア・レスポンスを取り入れた中級作文クラスを対象に—」

劉 娜 (お茶の水女子大学大学院生)

「地方小都市における日本語教室—日本人と外国人の関係性を中心に—」

市川恭子 (桜美林大学大学院修了生)

◆ 第40回日本語文化学会運営協力者 (敬称略)

Arianty Visiaty、王植、加藤直子、Van Anh Nguyen、杉藤志帆、高瑩、千葉千恵子、張慧穎、張晋、チョナレ、Thazin Myat、横田敦子、白春花、付如、田中詩子、池田聖子、脇川友恵、山口優希子、呉孟チャン、趙あきこ、鄭 士玲、秦 松梅、齋馨宜、メグリアングライ・ボンティパー、マフラコワ・アレクサンドラ、石曉ブン、鈴木(清水)寿子